

「捨てない」「燃やさない」ホテルアメニティの未来

東横インが進める、アメニティをアメニティに変える循環型リサイクル



東横イン（東京都大田区）は昨年、国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシ・コームを採用。さらに、使用済み製品を回収し、再び製品原料として活用する「循環型リサイクル」を進めている。国内で運営する約7万5000室への導入・運用は大掛かりなプロジェクトだが、回収率は約50%と高水準を実現している。導入の狙いと、製品および回収を支援するマイン（福岡県遠賀郡）との連携を進めた経緯について、東横イン執行役施設企画部長の松岡好美氏と施設企画部の佃彩子氏、マイン東京支店長の永石弘樹氏に聞いた。

国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、



▲粉砕した国産竹を原料に使用した歯ブラシとコーム

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

回収・再資源化まで。マイングループと進める循環型リサイクル

「環境に配慮したアメニティはないか」と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

回収・再資源化まで。マイングループと進める循環型リサイクル

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、



▲客室に設置された回収ボックスも、使用済みプラスチックを原料としている

2025年度実績	
【総回収量】	73285.484kg
【CO ₂ 削減効果】	
・1本当りの削減量	24.9g-CO ₂
・1本当りの削減率	48.5%
※PP100%製を焼却処分した場合と比較	

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

回収・再資源化まで。マイングループと進める循環型リサイクル

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

「国産竹を活用したバイオマス原料の歯ブラシとコームを採用した経緯は、松岡 具体的に検討するきっかけとなったのが、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」です。法施行に先立つ2021年からプラスチック製アメニティの回収・リサイクルに着手しましたが、素材や処理方法などについて様々な選択肢を検討していました。マインさんには、以前から当社に歯ブラシを納品していただき、長年のお付き合いがありました。『環境に配慮したアメニティはないか』と相談したところ、国産竹を使用した歯ブラシの開発と、使用後の製品を回収・再資源化する仕組みづくりを進めていることを知りました。——マインの製品・取り組みに注目した理由は、

使い捨てで終わらない。 日本の竹でつくる、 マイングループの 循環型アメニティ。

宿泊施設の環境対策をバイオマスとリサイクルでしっかりサポート。

全国に広がる、
循環型リサイクルの輪

アメニティ総回収量	回収協力施設	パートナー法人
123トン超	385施設	19社

※各数値は2026年9月26日現在 ※アメニティ総回収量は有価物としての買取量です。

Amenity Amenity

導入メリット
選ばれる理由
具体事例
詳しくはこちら

たけびー
<https://www.mine-jp.com/mine-recycle>

sense up amenity

販売元: 株式会社マイン 製造元: 株式会社フィード

お電話でのお問い合わせはこちら ▶

株式会社マイン

TEL:03-6802-2881

東京支店
担当: 永石